

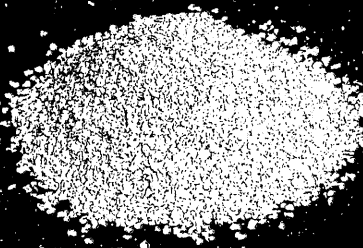
博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

GOLD RUSH!!

今年も熱い夏がやってくるー



甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

THE Yu-No-Oku MUSEUM of GOLD MINING HISTORY

参加者募集!!

第7回

砂金掘り大会

2007 8/4 [SAT]

夏休み
特別企画

第4回

私学交流砂金掘り大会

2007 8/4 [SAT]

参加者募集!!

第7回

こども金山探検隊

2007 8/25 [SAT] 8/26 [SUN]

「意欲」が町を変える

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

湯之奥金山博物館は国指定史跡「湯之奥（中山）金山」遺跡のガイダンス館として、また生涯学習の教育施設としての役割を持ちながら、それに留まらず「地域活性化の拠点」として活動をしています。

簡単に言えば「身延町の未来を見つめた活動」をしています。館（町施設）としての活動で手が届かない部分は、広域的に地域の活性化に情熱を燃やす皆様と力を合わせ「館外活動」（民間活動）をしています。ですから「館活動」（町施設）＋「館外活動」（民間活動）による「身延町の活性化」運動というパターンです。

町内のところどころに立っている「富士川流域王国」の幟旗は、この「身延町の活性化」運動の旗印と捉えてください。身延町の活性化は「富士川流域全体の活性化」の上に成り立つと考えています。これが広域的な捉え方です。

いま日本は東京都など一部を除き、高齢化と人口減に悩んでいます。身延町も同様です。これを「何とかしなきゃあなんのや」という事で、峡南地域、特に身延町のことを真剣に考え、行動を起こしている方がおります。「うえんてえら」の佐野さんです。これで分からない方は、旧下部町上之平出身のNIPRO 佐野實社長さんと言えば誰でもお分かりになるでしょう。サッカーJ1・ヴァンフォーレ甲府のユニフォームには、NIPROのロゴが躍動しています。

佐野社長は平素から県立身延高校硬式野球部の甲子園行きを熱望して深い理解を頂いています。あの甲子園で「身延高校」の勇姿を全国へアピールすることで、身延町に元気が湧くと考えています。何か町に発展のきっかけづくりをしたいと考えています。

先般、機会があってNIPRO 大館工場を見学してきました。世界一のシェアを目前にしている「人工臓器」生産の最先端を社長に案内していただきましたが、1,200人余の若い社員が真剣に生産に取り組んでいる姿に目を見張りました。

たが、それよりも淡々と何も気張らず工場内を案内して下さった社長の姿にはもっと驚きました。

しかし通された部屋には「意欲」という文字が掲げてありました。心に秘めたその二文字と常に「こうすればもっと良くなる」といった「技術革新」の集積が、今日のNIPROを築き上げている全てだと感じました。

佐野社長のところへは全国から企業誘致の誘いが随分あるようです。しかし地域と一緒に汗を流すから・・・という話はないそうです。地域が一体となって「こうすればもっと良くなる」という気持ちがなければ、どんな企業がやって来ても「地域は発展しない」という考えをお持ちのようです。いま佐野社長は、身延町や峡南地域が大きく発展するための大きなプロジェクトを検討しています。もともと地域にあるものですが、先端技術を駆使して企業レベルで取組むことができないか模索しています。これからは町民や地域（峡南）が一つになって、地域をどうやって活性化させるか、その「意欲」と「改革」の気持ちがどれだけあるかで、町は変わっていくんだよ、と佐野社長は言います。

5年後位には「中部横断自動車道」が開通するでしょう。身延町内には「波高島」や「和田」周辺にICが出来ると思いますが、これを身延町の活性化にどう結びつけるかは、町民・地域の受け入れ方一つにかかわります。

これをプラスに転ずる「意欲」が大切です。18年後の2025年にはリニアモーターカーが山梨県を横断します。JR 東海のリニアカーと身延線が、どこかでクロスします。身延線にも未来を感じませんか。しかし、問題なのは、今これに対応するための行動をどう起こすかということです。あまり先の未来でなく、その時まで自分が住んでいる町をどの様に誘導していくかは、やはり町民や地域の皆様の「地域を良くしたい」という知恵と意欲にかかっていると思います。

活 動 報 告

第 8 回企画展「金山衆の風林火山」終了 4月19日(木)～5月20日(日)

第8回企画展「金山衆の風林火山」は、普段、展示室では公開されない貴重な資料や、学際調査後の現地で発見された資料、様々な経緯から当館に寄託・寄贈された新資料を皆様にご覧いただく収蔵庫展であると同時に、常設展示とのセット展示として湯之奥金山の歴史をもう一度見直したいと企画・開催しましたが、約1か月の展示期間を終え、好評のうちに閉幕いたしました。

特に、「川中島合戦屏風（複製品）」は、精緻な構図と人物図が色鮮やかで、特に武田信玄と上杉謙信の一騎打ちの場面が描かれていることもあり、ご来場くださったお客様が食い入るように見つめる姿を多く見かけました。

また、開館当初は常設展示室で公開していた門西家文書は、現在は劣化防止の観点から、パネル展示に切り替えています。湯之奥金山の歴史と、金山衆の性格を探るうえでも重要な資

料的価値をもつこの古文書は金山史研究解明に決してはずせません。そんな貴重な穴山発給文書4点の原本を公開し、さらに、新たに下部温泉郷の熊野神社から寄託された穴山梅雪制札も展示いたしました。

また、今回の展示会のもうひとつの目玉資料として、加藤為夫氏（町内下山在住）からお借りした手の平に乗るほどの超小型湯之奥型挽き臼も展示いたしました。使用痕はないものの柄溝もしっかり作られており、他鉱山では類例がない遺物で、所有者の加藤さん自身も「金山の繁栄を願うという祭祀的な意味を持ち、鉱山村の中で奉られていたものかもしれませんね。」とおっしゃる珍しいものでした。



手の平サイズの湯之奥型

有料入館者18万人目は愛知県の太田さんご家族 5月4日(金)

今年のゴールデンウィークも多くのお客様にご来館いただき、楽しんでいただくことができました。やはり連休というご家族連れのお客様が圧倒的に多く、砂金採り体験室でも大きな歓声と満面の笑顔があふれかえっていました。そんな大型連休中、博物館ショップ壁面の写真がまた一つ増えました。

連休中盤の5月4日の朝一番に、開館以来、有料入館者18万人目のお客様をお迎えすることができました。

今回のラッキー入館者は、小学5年生の男子、愛知県にお住まいの太田周弥君でした。お



父さんとお母さんの3人でやってきた周弥君は、実は博物館に昨年も訪れており、その時に体験室に掲示されている「砂金採り番付表」にもその名前を掲載してくれていました。

砂金採り体験がとても楽しかったので、またやってきましたという周弥君、今年度の番付にも是非、自分の名前を好成绩で掲載したいという目標を携えつつ来館したところの幸運でした。

受付で記念入館者となったことを伝えると、お父さん、お母さんも大喜びで、谷口館長から花束を受け取った周弥君も「びっくりしました。すごく嬉しいです。」という感想を述べてくれました。

太田さんご家族は、この連休を山梨で過ごされましたが、下部に滞在の間、ずっと砂金採り体験に訪れてくれました。帰りの日には「また夏に来ます。ありがとうございました。」と笑顔で館を後にされ、後日、太田さんから改めて喜びのお便りも頂戴しました。

次の記念入館者はあなたの番かも知れません。

しもべおんせんまつり

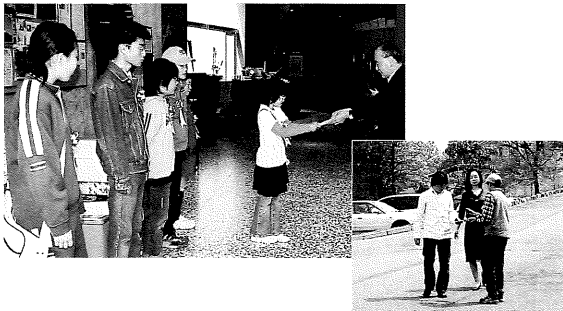
5月19日(土)～20日(日)

博物館駐車場が初日のメイン会場としてリニューアルされてから、3年目を迎えた「しもべおんせんまつり」ですが、今年も、しもべおんせんまつり実行委員会主催のもと、盛大に行われ、多くの出店が並び、会場も博物館も大賑わいでした。

お祭りの内容も、航空高校の太鼓演奏や、身延山門内の万燈行列なども新たに加わった催し物があり、訪れた人々を楽しませてくれました。1日目の最後を飾ったのは少し早い花火大会。花火ならではの大きな音が温泉郷に響き渡り、当日の朝方に降った激しい雨の影響もなく、お祭りの夜を締めくくるにふさわしい大輪の花火が夜空を彩りました。2日目の神楽奉納は熊野神社で行われましたが、こちらも多くの来場者で賑わいました。

開館記念事業「一日館長」

4月28日(土)



当館は、平成19年4月24日で開館11年目を迎え、去る4月28日、開館記念事業として「一日館長」事業を行いました。

谷口一夫館長、高岡伸五博物館友の会会長と共に、町内の文化施設及び観光施設等を視察しながら、湯之奥金山博物館のパンフレットと入館割引券を配布してPR活動を務めてもらうという、この「一日館長」に今回は、下部地区内の下部小・中学校、久那土小・中学校から、6人の児童・生徒が推薦され、「一日館長」の重責を務めてくれました。

湯之奥金山博物館一日館長

佐野麻美さん(下部小4年)
今村美月さん(下部小5年)
小林大地君(下部小6年)
岩松匠君(下部中3年)
佐野雅人君(久那土小6年)
保坂加奈子さん(久那土中2年)

谷口館長から委嘱状が交付された一日館長さんたちは、さっそく湯之奥金山について学習し、この博物館が地域活性化の拠点として重要な役割を果たしていることを理解しました。

館内での視察を終えた後、「なかとみ和紙の里」、「道の駅富士川ふるさと工芸館」、丸畑の「木喰の里微笑館」と「道の駅しもべ」の順で各施設を回り、施設来場者にパンフレットを配

布しながら、出発前に学習した博物館の内容を説明して、積極的にPR活動を行ってくれました。

また、なかとみ和紙の里では、紙漉き体験で自作のうちわづくりに臨み、思い思いの色を使って上手のうちわを仕上げ、さらに現代工芸美術館では、普段目にするのできない有名な画家たちの作品を観覧しました。「木喰の里微笑館」では、中学生館長さんが、微笑仏について自分が以前に学習したことを他の館長さんたちに説明するなど、金山博物館だけでなく他施設の内容や役割も学習しながらPR活動に励んでくれました。

「一日館長」と書かれたリボンを付けた館長さんたちに、「かわいい館長さんですね」、「頑張ってるね」と来場者の方々から声をかけられたり、また、「館長室」での記念撮影では、初めて座る大きな館長の椅子に皆、緊張した面持ちだったのも印象的でした。

「一日館長」さんたちも、博物館に帰る頃にはさすがに疲れた様子でしたが「最初は緊張したけれど、いろいろな施設を回ることによって勉強することができて良かった。楽しい一日を過ごす中で湯之奥金山博物館の役に立てたことが良かった。」という感想を全員が言ってくれました。

「一日館長」を務めてくれた皆さん、お疲れ様でした。



谷口館長を囲む一日館長さんたち

開館11年目・記念植樹

5月24日(木)

4月24日開館記念日を迎え、当館も開館から11年目を迎えることができました。多くの皆様にご支援・ご協力を賜り、また開館以来の地道な努力の結果、入館者数も増え続け今に至っております。これからも全国の鉱山研究拠点、学

術文化施設としての面を充実させながら、同時に身延町の顔、身延町の大観光施設であり続け、地域に密着した温かい施設作りと、ますますの発展を祈念し、30本のアジサイと10本のドウダンツツシを記念植樹いたしました。

館からお知らせ①

ご講演いただいた講師の先生方にご協力をいただき、平成17年度公開講座記録集『金山史研究第8集』が4月に刊行され、皆様からご好評をいただいております。

また、発掘調査の際に発刊された湯之奥金山遺跡調査報告書は研究者の方々からも熱望されておりましたが、このたび限定5冊に限りお届け可能となりました。9章からなる総合調査編、4章からなる研究編により、湯之奥金山遺跡の調査状況が詳細に解説されております。ご希望の方は当館までお問い合わせください。

◎『湯之奥金山遺跡の研究』

～湯之奥金山遺跡学術調査報告書～

(1992 山梨県西八代郡下部町・湯之奥金山遺跡学術調査会・湯之奥金山遺跡学術調査団)
【体裁：B5版294ページ・モノクロ図版59ページ、中山金山遺跡地図付 価格4,000円】



◎『金山史研究 第8集』

～平成17年度記念講演と公開講座の記録～

【体裁：A4版156ページ・カラー図版付、価格1,500円（会員価格1,300円）】

通信販売を希望される皆様へ：

※通信販売をご希望される方は、ご希望書籍名と住所・お名前・電話番号のメモを同封のうえ、商品代金+送料270円を、また、調査報告書をご希望される場合は、商品代金(4,000円)+送料450円を現金もしくは為替で当館までお送りください。代金到着を確認し次第、速やかに発送いたします。

なお、調査報告書は販売冊数に限りがあるため、当館へお問い合わせのうえ、ご送金ください。その他、ご不明な点は当館までお問い合わせください。

親子映画観賞会のお知らせ

ご家庭ではなかなか味わえない大迫力の大型スクリーンで、名作や話題の作品を、親子や家族の絆を深めながら観賞していただくため開催している親子映画観賞会。こうした機会を楽しみにして下さっているファンも多く、次の映画会はいつですか？というお問い合わせもたくさんいただいております。

次回映画会の日程は次のとおりです。なお、上映作品は、管内小中学校に配布するチラシ、博物館ホームページなどで周知しております。

親子映画観賞会 (於 博物館映像シアター)

◎平成19年6月30日(土) 午後6時30分～

◎平成19年8月22日(水) 午後1時～

上映作品は未定です。決定し次第、周知いたします。お誘い合わせのうえ、皆様でお楽しみください。

また、身延町文化協会下部支部自然愛好部との共催による映画観賞会も開催いたします。南極大陸の美しい景色、動物愛、自然の掟を題材とした感動作です。是非、お運びください。

日 時 6月22日(金) 午後7時30分～

上映作品 「皇帝ペンギン」

※いずれの映画会も観賞無料です。観賞希望の方は当館までお申し込みください。

館からお知らせ②

お待たせしました!!

湯之奥金山博物館の恒例夏の2大イベント。砂金掘り大会とこども金山探険隊を次のような日程で開催いたします。いずれのイベントも回数重ねて第7回。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

砂金採りの技とスピードを競うこの砂金掘り大会。知名度も年を追うごとに上がって参りました。今年の砂金掘りマスターの栄冠は誰の手に!?各部門入賞者にはメダルと賞状を進呈。さらに総合優勝者には豪華賞品が授与されます。ふるってご参加ください!!



年々レベルが上がる一般・私学両大会。私学大会は、昨年度出場校、灘・開成・山梨学院大附属・駿台甲府・海城学園の全5校が再び集結!



第7回砂金掘り大会

開催日時:平成19年8月4日(土)

※小雨決行。大雨の場合は翌日5日に延期

定員:100人まで

(参加申込受付は前日の午前中まで)

参加費:大人500円、中学生まで300円

(受付時に徴収)

競技部門:

◎ジュニアの部 (小学生~中学生)

◎男女初心者の部 (高校生以上の男女)

◎男女ベテランの部 (年齢制限なし。ただし、過去入賞経験のある方は、自動的にベテランの部門にエントリーされます。)

※今回より、当日の飛び入り参加受付はございませんので予め、ご承知置きください。

日 程

8:30~	湯之奥金山博物館集合・受付開始
9:00~	開会式・ルール説明 (デモ試合を含む)
9:20~	ジュニア部門
10:00~	男女初心者部門
11:00~	男女ベテラン部門
11:45~	結果発表・表彰式
12:30	一般大会終了。解散
14:30~16:30	私学交流砂金掘り大会
17:00	すべてのプログラム終了・解散

湯之奥金山博物館杯・第7回砂金掘り大会 参加申込用紙

(コピーして使用可・または同項目を記入したものであれば有効)

参加申し込み締め切り **平成19年8月3日(金)まで**

申し込み
方 法

申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、当館宛にFAXいただくか、ご郵送ください。
なお、同項目を記入して頂いたメールでも受付いたします。また電話でのお申し込みも可能です。

	氏名(ふりがな)	性別	年齢	部門	備考
出場者名	①	男・女			
	②	男・女			
	③	男・女			
	④	男・女			
	⑤	男・女			
代表者住所・連絡先 (必ずご記入ください)		〒	TEL () -		

FAX 0556-36-0003まで

夏の2大イベント参加者募集開始!

こども金山探険隊 ~君も金山衆になろう!~

湯之奥・茅小屋金山を現地見学し、下山後、博物館屋外展示場において、「粉成・汰り分け」作業(鉱山を砕き、石臼で磨りつぶす。その鉱石粉を汰り分ける)を行い、最後に1.5gの金を使い、「灰吹き」作業を行い、オリジナル甲州金を作成します。好きな刻印を打刻し、オリジナル甲州金を作成し、出来上がった甲州金は持ち帰ることが出来る、夏休みの思い出、自由研究に親子でご参加いただけます。参加申込締切は平成19年8月21日(火)まで



砂金掘り大会、金山探険隊ともにタイムスケジュールは参考としてご覧ください。金山探険隊につきましてのお申込みは、電話、FAX、メールで承ります。その際、ご参加されるお子様(漢字・読み仮名・年齢は必須)をはじめ、保護者、お付き添いになる方全員のお名前、住所、電話番号をお書き添えください。さらなる詳細が決定する7月以降に、改めて参加要項をご郵送いたします。

2日目の26日はフリープログラムを予定しています。

さて、こども金山探険隊において、現地見学を予定している湯之奥・茅小屋金山の現場報告はこちら↓

茅小屋金山遺跡近況報告

6月4日、湯之奥金山の一つ、茅小屋金山の遺跡現場状況確認に行き参りました。今年初の現場確認でしたが、通常では通行不可能な内山金山遺跡を除いては、中山、茅小屋の両金山遺跡は、毎年何度か確認のために博物館独自で現場へ赴き、道を整備しています。

現場までの道のりは登山道入り口から約40分、宮屋敷と呼ばれる場所までさらに10分です。遺跡に到着するまでの道中は、数年前の大雨により大きく崩

れている箇所があるものの、それ以降は現状維持を保っていました。

現場では貴重な鉱山臼も1点確認されました。これは完形品ではないものの、湯之奥型の上臼でした。

茅小屋金山は平成元年の総合学術調査内における関連調査以来、詳細調査は行われていませんが、その後の茅小屋現場確認の際に、発見されている鉱山道具は、磨り臼と上臼があります。(『館だより14号』で紹介)。特筆すべきは、発見されている上臼の全てが「湯之奥型」であることです。全国的に鉱山研究が進み、様々な形態の鉱山臼が発見される中、鉱山臼のさらなる詳細な体系化を進める必要に迫られており、こうした新たな発見が重要な一資料になります。なお、開館以来の懸案事項として、中山金山のさらなる調査、内山・茅小屋2金山の詳細調査が強く望まれています。



新たに発見された
湯之奥型上臼

第7回こども金山探険隊

開催日時:平成19年8月25日(土)~26日(日)

※雨天決行

定員:15人(保護者は定員に含まれません。)

参加費:1人3,500円

(甲州金の純金材料費として)

※参加費は材料費なので、甲州金を作成しない保護者・付き添いの方からは徴収いたしません。なお、バーベキュー懇親会にご参加される場合は、保護者・参加者問わず、別途大人1,000円、子ども500円を頂戴いたします。

日程(1日目)

8:30~	湯之奥金山博物館集合・受付開始
8:40~	開会式・オリエンテーション
9:40~	登山道到着。登山開始
10:40~11:50	現地到着・見学・昼食
11:55~	下山開始
13:00~17:00	粉成・汰り分け作業・甲州金作り
17:30~	修了式
18:00~19:30	バーベキュー懇親会
19:40	解散

金山博物館が投票所に

去る4月8日、山梨県議会議員選挙が執り行われました。

新年度から投票所の見直しが行われ、当館も新たな投票所に選定され、この日、町民の皆様には開放されました。投票の後に、一般の来館者の皆様と同様、ひと休みしていただくようにお出しした町特産の「しいたけ茶」のサービスに、ほっと一息ついて店内を眺めていく姿も多く見られました。

投票日当日は、大勢の有権者の方々にご利用いただきましたが、また駐車場も広く、施設も新しく綺麗だにご利用頂いた皆様から好評の声をいただきました。また、来る7月も、参議院議員選挙の投票所となります。

博物館日誌 (平成19年4月～6月)

6月	5月	4月
15日(金)	4日(金)	1日(日)
7日(木)	1日(火)	4日(水)
4日(月)	28日(土)	6日(金)
3日(日)	24日(火)	8日(日)
31日(金)	23日(月)	観桜期臨時開館
26日(土)	20日(金)	山梨県議会議員選挙(選挙会場・多目的ホール)
25日(金)	19日(木)	山梨県議会議員選挙(選挙会場・多目的ホール)
24日(木)	18日(水)	観桜期臨時開館
22日(火)	17日(火)	所沢市立中央中学校宿泊研修147人・シネバザール映画会社取材
20日(日)	16日(月)	山梨県デスティネーションキャンペーン参加
19日(土)	15日(日)	八田中、玉穂中、県内めぐり・管内小中学校展示図録配付
18日(金)	14日(土)	デスティネーションキャンペーン・臨時開館
17日(木)	13日(金)	第8回企画展「金山衆の風林火山」初日(5月20日迄)
16日(水)	12日(木)	K2ダイレクション 雑誌取材
15日(火)	11日(水)	タウンネット取材
14日(月)	10日(火)	『金山史研究第8集』一般頒布開始。開館記念日・開館11年目突入。
12日(土)	8日(日)	開館記念事業・一日館長
11日(金)	7日(土)	夏時間変更
10日(木)	5日(木)	有料入館者18万人目達成
8日(火)	4日(水)	親子映画観賞会「リトルマーメイド2」
7日(月)	3日(火)	山梨日日新聞取材
5日(土)	2日(月)	早川南小学校「テーマ別課題」オリエンテーション
4日(金)	1日(日)	松里中1年遠足
		押原中、若草中、竜王中県内めぐり、久那土小3・4年遠足
		若草中遠足
		社会教育委員会
		TBSテレビ「ドッカン」取材
		臨時開館、田富中県内めぐり
		御勅使中県内めぐり、ネット配信番組取材、身延山大学課外授業
		櫛形中ふるさとめぐり、甲府CATV取材打合せ
		しもべおんせんまつり1日目(於博物館駐車場)
		企画展最終日、しもべおんせんまつり2日目(於熊野神社)
		富士川流域王国会議
		敷島中ふるさとめぐり
		ツツジ・アジサイ記念植樹
		御坂中ふるさとめぐり
		企画展資料返却
		峡南高校課外授業、観光連盟会議出席
		山梨日日新聞取材
		茅小屋金山遺跡下見、山梨県観光物産連盟撮影
		峡南高校課外授業
		館だより41号発刊

編集後記

山の緑も濃くなってきて、ホテルの季節です。淡い光が闇に光り、それがふわりふわり飛ぶ様子は、慌ただしい毎日を少し忘れさせてくれるはず。以前よりもなんとなく四季が定まらない印象を受ける昨今ですが、それでもやはり自然の美しい事象は、人々の心に必要不可欠な「癒し」です。

新聞紙上や情報雑誌でも、ホテル乱舞スポットの特集を組んで紹介されていますが、下部も

ホテルで有名。大勢の皆様にはホテル鑑賞を楽しんでいただき、この地で癒されていただきたいものです。ただし訪れる皆様それぞれがお互いマナーを守ることも必要です。来てくれた人たち全員が気持ちよく自然を満喫してくださることも迎える側にとって大事なことからです。

さて、ホテルの時期が終わればすぐ夏休み。8月に用意している博物館恒例2大イベント、今年も多くの皆様のご参加をお待ちしておりますので、どんどんお申し込みくださいね。

博物館だより 第41号 平成19年6月15日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp